

マーケットの動き（2026年9月14日～9月23日）

先週の米国国債市場は、9月11日比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。原油高を背景としたインフレ懸念が継続する中、16日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で0.25%の利上げが決定され、追加利上げの可能性も示されたことから金利は高止まりしました。23日発表の景気指標が市場予想を上回ったことを受けて追加利上げ観測が強まり、10年国債利回りは一時5.13%と2007年7月以来の高水準を付けました。欧州国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

投資環境見通し（2026年9月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともにレンジ内で推移

米国：政府の国債発行とAI関連企業の大規模投資に向けた社債発行の双方による長期資金調達の動きは長期金利の上昇要因とみられます。一方、インフレ懸念の後退は低下要因とみられ、長期金利はレンジ内で推移するとみています。

欧州：ECB（欧州中央銀行）による早期の利上げ観測が広がる中、景気については財政拡張政策に支えられるものの、熱波の影響で一部に落ち込みが懸念されています。ドイツ長期金利はレンジ内で推移するとみています。

	9月23日	変動幅（騰落率）			
		9月11日比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	5.10	0.13	0.37	0.76	0.99
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	663.34	2.24%	▲2.47%	▲1.35%	6.23%

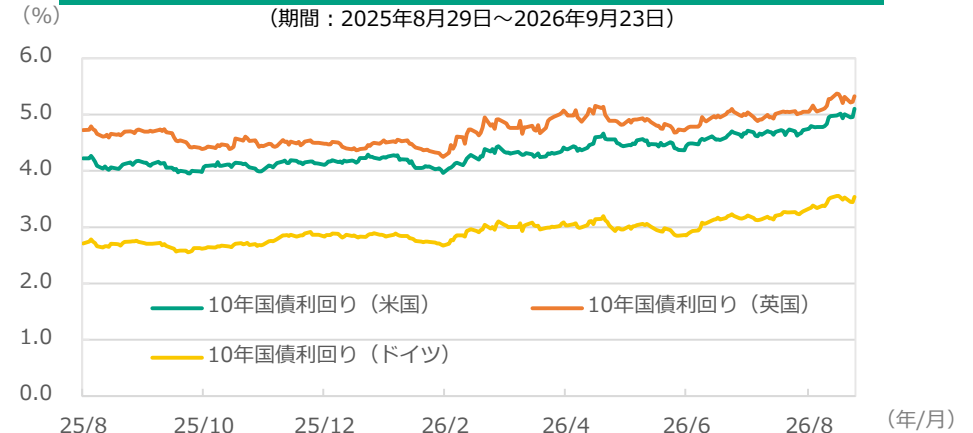
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202609_outlook.pdf

主要国国債利回りの推移

（期間：2025年8月29日～2026年9月23日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2025年8月29日～2026年9月23日）



※2025年8月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>